

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構施設整備に必要な経費			担当部局	研究開発局	作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 上田 光幸	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第十八条			関係する計画、通知等	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第4期中長期計画 宇宙基本計画(令和2年6月30日閣議決定) 等		
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	JAXAの設置する施設の整備充実を図るために要する経費に対して補助を行い、もって宇宙科学に関する学術研究の発展、宇宙科学技術及び航空科学技術の水準の向上、宇宙の開発及び利用の促進に寄与することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	JAXAの設置する施設の整備充実を図るために要する経費に対して補助を行う。【補助率:定額】						
実施方法	補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	1,376	1,121	6,349	2,781	8,969
		補正予算	6,678	1,723	6,705		
		前年度から繰越し	4,550	5,414	1,817	5,235	
		翌年度へ繰越し	▲ 5,414	▲ 1,817	▲ 5,235		
		予備費等	-	-			
		計	7,190	6,441	9,636	8,016	8,969
	執行額	7,191	6,441	9,584			
	執行率 (%)	100%	100%	99%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	89%	226%	73%			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構施設整備	2,781		令和2年6月30日に閣議決定された宇宙基本計画について、その工程表に沿った開発を着実に進めるために所要の経費を計上しているもの。 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			
	計	2,781	8,969				

活動内容 (アクティビティ)	JAXAの設置する施設のうち、ロケットに関連する施設について整備充実を図る。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	ロケットの安定的な運用のため、必要となる設備の整備拡充	ロケット関連施設の整備件数	活動実績	件	10	4	6	-	-		
			当初見込み	件	6	4	4	8	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	整備したロケット関連施設1件当たりのコスト(平均)			単位当たりコスト	百万円	240	484	282	477		
				計算式	執行額/整備実施件数	2399/10	1934/4	1692/6	3812/8		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度		
	<p>独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。</p> <p>(※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、本事業については平成30年度からは、「Ⅲ.宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3.宇宙政策の目標達成に向けた宇宙プロジェクトの実施」「3.9.宇宙輸送システム」及び「6.宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組」「6.5.施設及び設備に関する事項」において評価を受けている。</p>	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	50	-	-		
			目標値	%	100	100	100	100	100		
			達成度	%	100	100	50	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和2年度における業務の実績に関する評価」より										

活動内容 (アクティビティ)	JAXAの設置する施設のうち、衛星に関連する施設について整備充実を図る。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	衛星の安定的な運用利用のため、必要となる設備の整備拡充	衛星関連施設の整備件数	活動実績	件	0	0	0	-	-		
			当初見込み	件	0	0	0	0	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	整備した衛星関連施設1件当たりのコスト(平均)			単位当たりコスト	百万円	0	0	0	0		
				計算式	執行額/整備実施件数	0/0	0/0	0/0	0/0		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度		
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 (※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、本事業については平成30年度からは、「Ⅲ.宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3.宇宙政策の目標達成に向けた宇宙プロジェクトの実施」「3.3.宇宙状況把握」「3.6.宇宙科学・探査」及び「3.11.人工衛星等の開発・運用を支える基盤技術(追跡運用技術、環境試験技術等)」並びに「6.宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組」「6.5.施設及び設備に関する事項」において評価を受けている。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 (中間目標年度・目標最終年度には29年度事業の目標値を記載している。)	成果実績	%	100	100	100	-	-		
			目標値	%	100	100	100	100	100		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和2年度における業務の実績に関する評価」より										
活動内容 (アクティビティ)	JAXAの設置する施設のうち、航空に関連する施設について整備充実を図る。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	航空分野の研究開発のため、必要となる設備の整備拡充	航空関連施設の整備件数	活動実績	件	2	3	5	-	-		
			当初見込み	件	2	2	4	3	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	整備した航空関連施設1件当たりのコスト(平均)			単位当たりコスト	百万円	165	311	149	493		
				計算式	執行額/整備実施件数	329/2	932/3	746/5	1478/3		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度		
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。 (※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、本事業については平成30年度からは、「Ⅲ.宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「5.航空科学技術」及び「6.宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組」「6.5.施設及び設備に関する事項」において評価を受けている。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	100	-	-		
			目標値	%	100	100	100	100	100		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和2年度における業務の実績に関する評価」より										

活動内容 (アクティビティ)	JAXAの設置する施設のうち、共通的に活用する施設について整備充実を図る。										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	JAXAにおける研究開発・事業実施のため、必要となる設備の整備拡充	共通施設の整備件数	活動実績	件	19	13	15	-	-		
			当初見込み	件	16	13	14	14	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	整備した共通施設1件当たりのコスト(平均)			単位当たりコスト	百万円	235	275	401	195		
				計算式	執行額/整備実施件数	4463/19	3574/13	6013/15	2726/14		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度		
	<p>独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。</p> <p>(※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、本事業については平成30年度からは、「Ⅲ.宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3.宇宙政策の目標達成に向けた宇宙プロジェクトの実施」「3.3.宇宙状況把握」「3.6.宇宙科学・探査」「3.9.宇宙輸送システム」及び「3.11.人工衛星等の開発・運用を支える基盤技術(追跡運用技術、環境試験技術等)」 「4.宇宙政策の目標達成に向けた分野横断的な研究開発等の取組」「4.2.新たな価値を実現する宇宙産業基盤・科学技術基盤の維持・強化(スペース・デブリ対策、宇宙太陽光発電含む)」、「5.航空科学技術」及び「6.宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組」「6.5.施設及び設備に関する事項」において評価を受けている。</p>	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	100	-	-		
			目標値	%	100	100	100	100	100		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和2年度における業務の実績に関する評価」より										

活動内容 (アクティビティ)		施設・設備の産業界への供用促進を行い、技術・設備の利用拡大・社会還元を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	JAXA施設設備を年60件外部機関に共用促進する。	施設・設備共用件数	活動実績	件	138	191	223	-	-	
			当初見込み	件	60	60	60	60	60	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	整備した共通施設1件当たりのコスト(平均)			単位当たりコスト	百万円	235	275	401	195	
				計算式	執行額/整備実施件数	4463/19	3574/13	6013/15	2726/14	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度	
	<p>独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果において、全ての項目で標準評価以上の評価を受ける。</p> <p>(※)主務大臣からの業務実績の評価のうち、本事業については平成30年度からは、「Ⅲ.宇宙航空政策の目標達成に向けた具体的取組」「3.宇宙政策の目標達成に向けた宇宙プロジェクトの実施」「3.1 1.人工衛星等の開発・運用を支える基盤技術(追跡運用技術、環境試験技術等)」、「4.宇宙政策の目標達成に向けた分野横断的な研究開発等の取組」並びに「6.宇宙航空政策の目標達成を支えるための取組」「6.5.施設及び設備に関する事項」において評価を受けている。</p>	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	成果実績	%	100	100	100	-	-	
			目標値	%	100	100	100	100	100	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の令和2年度における業務の実績に関する評価」より									
政策評価 との関係 計	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応								
		施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf					
				該当箇所	9-5-4~9-5-13					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、宇宙・航空に関する打上げ、追跡・管制、試験その他の研究開発に係る施設の整備・老朽化更新等を行うものであり、宇宙科学に関する学術研究の発展や技術水準の向上などをもって国民や社会のニーズに応えるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は衛星、ロケット、航空機等と一体不可分なJAXA施設の整備を実施するものであり、国が実施することが適切である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業により整備された施設は、宇宙基本計画の実現に向けた研究開発の推進等に必要なるものであることから、政策体系の中でも優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	JAXAにおける支出先の選定に当たっては、高度な専門性が必要となるもの等、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組を続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進の取組をおこなっている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	我が国の宇宙分野における自立性を確保することなどを目的に、国として実施すべき取組であり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	JAXAにおいて使途・費目の精査を行って締結した契約に基づき、適切に取組が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中長期目標に基づき策定された中長期計画の履行に必要な取組を実施するために締結する契約に関して、JAXAにおいて使途・費目の精査を行っていることから、費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	工事を実施する計画地において、工事中の降雨による濁水が河川等に与える影響を最小限にするために必要な沈砂池を配置する開発計画を進めていたところ、水質汚濁が確認されたことから、追加対策や工法の見直しなどが必要となったため等であり妥当である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	JAXAでは、成果報告書、技術資料、調達仕様書等、事業に係る様々な資料を一つの文書体系にまとめて管理・共有することで、業務の標準化・効率化を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価において、当該事業は標準評価以上の評価を受けている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	令和2年度打上げ計画に必要な施設の増改修等を行い令和2年度の事業を年度計画どおりに達成している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込み通り又は当初見込みを上回る実績を上げており、活動実績は見込みに見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価における「民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組」の項目において標準評価以上の評価を受けており、整備された施設や成果物は十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果		契約については、高度な専門性が必要となるもの等、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組を続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進の取組をおこなっている。
	改善の方向性		契約の競争性、公平性、透明性を確保する観点から、引き続き、入札公告前のチェックシートを用いた競争性確保の自己点検、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進に努めていく。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
一部内
改容

この事業は、一者応札の改善について改善に向けた対策を講じているものの、依然として一者応札となったものがあることから、具体的かつ実効性のある取組についての引き続き検討が必要である。
また、アウトプットとして設定している衛星関連施設の整備件数について、設定以来実績がないことから、活動実績を測る上で妥当であるか検証を行うべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

年度内に改善を検討

●JAXAが公募し、一者応札・応募となったものについてはJAXAの監事及び外部有識者にて構成される契約監視委員会による点検を行っている。
このプロセスにおいて、一者応札・応募となった案件の一部をサンプリング抽出し、それらの契約について、JAXAから不参加業者へのヒアリングを実施し報告している。
一者応札率については、契約監視委員会により、数年のスパンで見ても増えておらず引き続きモニタリングを継続、と評価されている。
JAXAにおいては、これまで総務省行政管理局から示されている国の調達改善に係る先行取組事例を含めた改善策を実施しており、今後も情報発信の充実などを継続して取り組んでいく予定である。
●土木工事においては、事前調査の開発計画に基づき工事を進めるものだが、その進捗状況に応じて更なる調査や対策が必要になることがある。本件の繰越については、工事を実施する計画地において、工事中の降雨による濁水が河川等に与える影響を最小限にするために必要な沈砂池を配置する事前の開発計画を進めていたものの、水質汚濁が確認されたため、追加対策や工法の見直しなどが必要になった等、結果として工期が翌年度に及んだものである。本事業の実施に際しては進捗管理の上で計画的な執行を行う。
●アウトプットとして設定している衛星関連施設の整備件数について、事業の成果を測る指標として適切なものか検討し、適切なアウトカム・アウトプットの目標設定による実績把握・検証に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	23-0308			
平成24年度	24-0325			
平成25年度	25-0300			
平成26年度	26-0294			
平成27年度	27-0284			
平成28年度	28-0281			
平成29年度	287			
平成30年度	292			
令和元年度	文部科学省 - 0286			
令和2年度	文部科学省 0287			
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
9,584百万円

事業概要
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の設置する施設の整備充実を図るために要する経費に対して補助。

※差額は国庫に返納済み

〔交付〕

〔A〕
国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
9,419百万円

事業概要
施設設備の整備・改修、宇宙状況把握(SSA)システム関連施設整備等。

〔随意契約(全互選号)等〕

〔B〕
民間企業等(43社)
9,419百万円

事業概要
施設設備の整備・改修、宇宙状況把握(SSA)システム関連施設整備等。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	施設設備の整備・改修、宇宙状況把握(SSA)システム関連施設整備等	9,419	役務	JAXA宇宙状況把握(SSA)システムレーダーシステムの整備	2,653
計		9,419	計		2,653

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発 機構	9012405001241	施設設備の整備・改修、宇宙状況把握(SSA)システム関連施設整備等	9,419	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	JAXA宇宙状況把握(SSA)システム レーダーシステムの整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2016年度~2021年度	2,653	その他	-	-	
2	日本電気株式会社	7010401022916	美笹深宇宙探査用地上局送受信サブシステム冗長系整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2023年度	121	その他	-	-	
3	鹿島建設株式会社	8010401006744	種子島宇宙センター第3衛星フェアリング組立棟新築他3件工事を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2020年度~2023年度	2,255	その他	-	-	
4	富士電機株式会社	9020001071492	調布航空宇宙センター本所特高受変電設備更新他1件工事を行う。	1,035	一般競争契約(総合評価)	3	-	
5	三菱電機株式会社	4010001008772	エンジン供給空気源設備の改修を行う。 契約時契約方式【一般競争契約(最低価格)】契約期間:2020年度~2021年度	223	その他	-	-	
6	三菱電機株式会社	4010001008772	地上ネットワークシステム(ミンゲニュー第1可搬局他)の空中線制御装置等設備の更新整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2019年度~2022年度	175	その他	-	-	
7	三菱電機株式会社	4010001008772	JAXA宇宙状況把握(SSA)システム 光学望遠鏡システムの整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2016年度~2021年度	93	その他	-	-	
8	三菱電機株式会社	4010001008772	美笹深宇宙探査用地上局アンテナサブシステム機能付加を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2023年度	75	その他	-	-	
9	三菱電機株式会社	4010001008772	地上ネットワークシステム送信設備の更新整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2016年度~2019年度	53	その他	-	-	
10	三菱重工業株式会社	8010401050387	支援機械種 フェアリング空調設備の更新・改修を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2021年度	279	その他	-	-	

11	三菱重工株式会社	8010401050387	種子島宇宙センター 冷却水供給設備の更新を行う。	200	随意契約 (その他)			
12	三菱重工株式会社	8010401050387	2021～2022年度 種子島宇宙センター貯蔵所系設備老朽化更新を行う。	16	一般競争契約 (最低価格)	1		
13	三菱重工株式会社	8010401050387	第3衛星フェアリング組立棟 システム運用性検証支援(その2)を行う。	8	随意契約 (その他)			
14	株式会社エイ・イー・エス	6010001089530	スペースチャンバ試験設備老朽化装置更新・改修(そのイ)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2019年度～2021年度	314	その他	-	-	
15	三菱重工機械システム株式会社	2140001013316	極超音速風洞設備 空気圧縮機設備の更新を行う。	182	一般競争契約 (最低価格)	2		
16	三菱重工機械システム株式会社	2140001013316	極超音速風洞 運転制御装置の改修を行う。	49	随意契約 (その他)			
17	株式会社加藤電気工業所	4011501000995	SLR(Satellite Laser Ranging)システムの整備を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2018年度～2020年度	186	その他	-	-	
18	株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング	3011101001775	ラムジェットエンジン試験設備 制御系の更新を行う。 契約時契約方式【一般競争契約(最低価格)】契約期間:2018年度～2021年度	178	その他	-	-	
19	株式会社森建設	3340001014169	内之浦宇宙空間観測所Mロケット組立棟耐風・耐水改修工事(2020)を行う。 契約時契約方式【一般競争契約(最低価格)】契約期間:2020年度～2021年度	174	その他	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-